

大日岳・奥大日岳

2010.9.19～9.21

4名

9月19日（日）

午後7:30 京都駅8条M氏の車に乗り込み立山駅に向かう。翌20日の0時過ぎ頃立山駅近くの常願寺川沿いの駐車場に到着。テントを張り早々に就寝（12:30くらい）。うとうととしているとぽつぽつと雨の音・慌ててフライをかけ、再度シュラフにもぐりこむ。

9月20日（月）

雨と常願寺川の音で熟睡できないまま夜が明けた。あいにくの雨だが、雨脚は強くない。6時40分発のケーブルで美女平へ。そこからバスで50分、室堂に着く。地獄谷の強い硫黄の臭いを嗅ぎながら山歩きが始まった。称名川上流にかかっている木の橋を渡り新室堂乗越から奥大日へコースを取る。

奥大日までは、比較的なだらかなのぼりだが、体はあえいでいる。登山道脇には沢山のタテヤマアザミや黄色く色づきはじめてイワイイチョウの出迎えと、赤い実をつけたナナカマドやオヤマノリンドウの鮮やかな青に励まされ歩く。ダイヤモンドソウ、ウサギギク、タテヤマリンドウ（ミヤマリンドウ?かも）もまだ残っておりチングルマの巻き毛が雨にぬれ夏の終わりを告げていた。奥大日手前で3羽の雷鳥の母子連れに出会う。奥大日から登山道は岩が露出していて梯子、鎖が取り付けられているところが1.2箇所ありました。池、木道を通り大きな岩がたっている七福園、中大日岳を歩き、ランプとギターのある宿大日小屋に到着。

9月21日（火）

朝食後、大日岳をピストンしてから昨日歩いた道を引き返しました。この日も雷鳥と出会いました。M氏の前を赤ちゃん雷鳥がちょこちょここと先導するかのように登山道を歩いていました。

ツアー客でゴった返す室堂に着き、休むまもなくバスに乗り込みました。元厚生年金の大きな宿舎で700円の温泉に入り帰途に着きました。





← 【イワショウブ】